

■ ブックキーパー スプレーボトル／アビィpHペン

保存用品

手紙やはがき、薄手の冊子などの紙資料を脱酸性化処理することができるスプレーです。特別な装置を必要とせず、革や布、接着剤といった製本材料を変質させることなく、インクやスタンプを変色させることもありません。



861-010

861-020



ブックキーパー スプレーボトル

861-010 | ¥11,000+税 | 150g

ブックキーパー 詰替用

861-020 | ¥35,000+税 | 900g



▶ブックキーパーの使い方は動画は、キハラホームページのメニュー「製品検索・カタログ」内「動画」でご覧いただけます。



使用枚数:861-010 A4 約25枚 / 861-020 A4 約150枚
○一般的なインク類に安全に使用できますが、pHの変化に敏感な青写真には変色、退色の可能性があり、利用できません。ジアソタイプやこんにやく版もpHの変化に敏感ですので注意が必要です。

アビィpHペンは、脱酸性化処理を必要とする酸性紙を選び出すことができるペンです。ペンは一度書き込むと色が消えませんが、書籍の小口やページの奥など、目立たない箇所に小さな点を打ち、色をご確認ください。ルーペなどを使用しますと、小さな点でも十分確認できます。紙の地色が影響する場合もありますが、チェックした色は概ね表のような色合いになります。



中性	●	鮮やかな紫色
酸性	●	くすんだ紫色
	●	黄褐色
	●	黄色
	●	ほぼ透明

アビィpHペン

861-100 | ¥1,200+税 |

○アビィpHペンは一度書き込むと色が消えませんが、書き込む箇所を注意の上、ご使用ください。

資料保存事業の事例紹介

岡山県瀬戸内市に所在する国立ハンセン病療養所である長島愛生園が所蔵する歴史的資料の状態点検作業・脱酸性化処理・簡易補修処置をおこないました。同事業は、岡山県瀬戸内市が実施したふるさと納税「後世に伝えたい ハンセン病の歴史」(令和元年度)に寄せられた寄附金を財源として、令和3年度にNPO法人ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会によって実施されました。

キハラでは、このような歴史的資料の保存に必要な対策を整え、後世に伝えたい貴重な資料の保存に役立つサービスを提供します。

▶資料保存事業の詳細は、キハラホームページのメニュー「読みもの」内、「資料保存事業事例紹介 国立療養所長島愛生園」でご覧いただけます。



神谷書庫に収蔵された長島愛生園機関誌「愛生」(昭和6年創刊)



全ての保存処置が完了した紙資料の返却と確認作業

